

土壤汚染による環境リスクのとりえ方

土壤汚染による環境リスクのとりえ方については、以下のように整理できる。

1 人の健康の保護の観点

(1) 汚染土壤の直接暴露

汚染土壤の摂食^{*1}及び皮膚接触（吸収）

【現行のダイオキシン類に係る土壤環境基準】

(2) 他の媒体（大気、公共用水域、地下水）を通じた暴露

地下水等（への溶出） 飲用等【現行の土壤環境基準（溶出基準）】

大気中（への揮散） 吸入

公共用水域（への土壤粒子の流出）（魚介類への蓄積） 摂食

農作物、家畜（への蓄積） 摂食【現行の土壤環境基準（農用地基準）】

2 生活環境（生態系を含む）の保全の観点

(1) 汚染土壤の直接暴露

生活環境（不快感等）

農作物、農作物以外の飼料用植物の生育阻害

【現行の土壤環境基準(農用地基準)】

生態系への影響

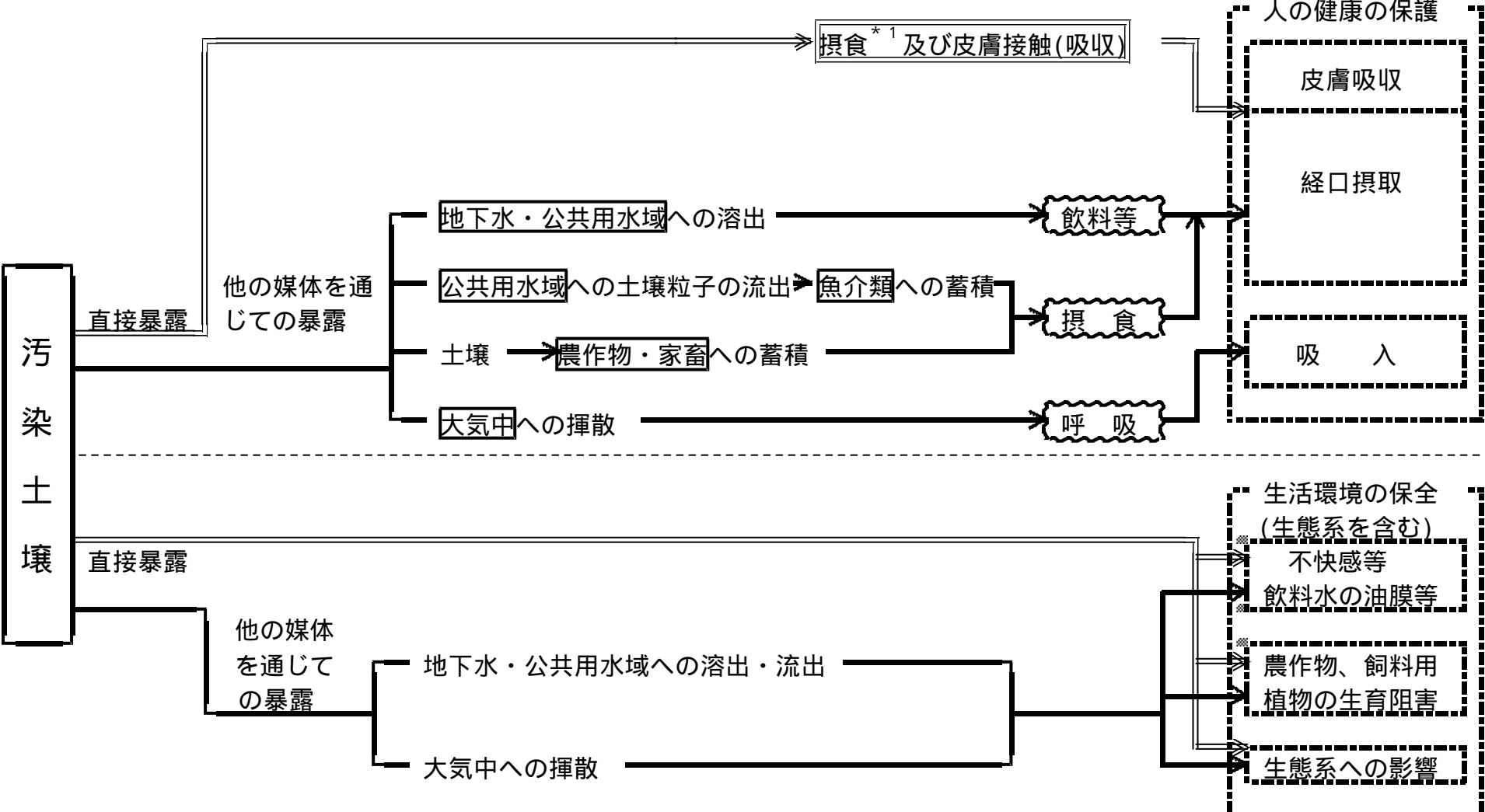
(2) 他の媒体（大気、公共用水域、地下水）を通じた暴露

生活環境（飲料水の油膜等）

生態系への影響（農作物等の生育阻害含む）

（*1：飛散による土壤粒子の摂取を含む。）

土壤汚染による環境リスクのとりえ方の概念図



(* 1 : 飛散による土壌粒子の摂取を含む。)